

タテ科 ミチヤナギ属

ミチヤナギ (道柳)

Polygonum aviculare L.

自生環境

道ばた、荒地、野原 など

原産地

日本在来

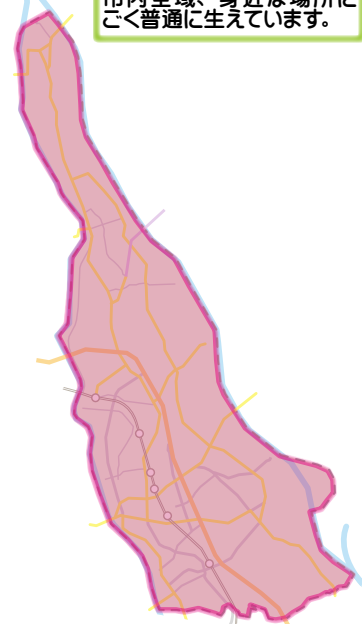
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域、身近な場所にごく普通に生えています。



特徴

- ☆ 身近な場所にごく普通に生える1年草です。名前は道ばたに多いことにちなみ、庭先にも勝手に生えてくることから「ニワヤナギ」という別名もあります。ヤナギとつきますが、ヤナギではなくタテの仲間です。
- ☆ 茎はふつう直立し、10~40cmくらいの高さになります。よく踏まれる場所では、立ちあがらずに地を這うような姿でのびることもあります。葉は薄青緑色で、先が丸みを帯びた細長い楕円形です。初夏から秋にかけ、葉のわきにとても小さな薄緑色(ときにピンクがかかる)の花を咲かせます。花の後も花被片は残り、その中に包まれるようにタネが1個育ちます。
- ☆ 茎の上から下まで葉の大きさがほぼ同じで、なおかつ葉の幅が1cm以上あるもの(ミチヤナギは1cm未満)をオオミチヤナギして変種に分けることがあります。

踏まれるところが好きな草

ミチヤナギのよく生える環境は、舗装されていない道路(土の道、砂利道)で、日当たりが良く、人や車にたびたび踏まれるような場所です。そのため背の低い草が多く、草が生えずに地面がむき出しになっている部分も目立ちます。このような場所にはほかにオオバコ、シロツメクサ、カゼクサ、オヒシバ、チカラシバ、ツメクサ、ノミハヅリ、外来タンポポ、ハルジオンなどが生えています。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

